



安比高原リゾート全景
(岩手県八幡平市)

○本社所在地：岩手県盛岡市愛宕下1番地10
 ○事業概要：サービス業
 ○常時使用する従業員：470名
 （2025年3月期）
 ○現在の売上高：82億円
 （2025年3月期）
 ○法人番号：1400001002029
 ○Web：https://www.ihr.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
黄 思麗

岩手から世界へ。新しいリゾート都市をつくる

株式会社岩手ホテルアンドリゾートは、自然・人材・文化を結ぶ“日本型リゾート都市モデル”を確立します。英国の名門「ハロウ・インターナショナルスクール安比ジャパン」の開校を起点に、観光の季節性を超えた「学びと暮らしの融合」を推進しています。観光事業者として初めて“教育連動型まちづくり”を実現した、日本の地方リゾートの中でも極めて先進的な事例です。さらに、八幡平市・岩手県・東北経済産業局と連携し、雪資源・教育・健康を軸とした「安比バレー構想（定住人口1万人計画）」を推進。岩手発のリゾートを“世界に誇る日本の地域産業モデル”として輸出できる水準へ育てる挑戦です。雪資源を中心とした東北の自然と文化を活かし、岩手・盛岡・八幡平を軸に、観光経済の新たな中核として年商100億円を超える持続的成長を実現することをここに宣言します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2029年に売上高100億円達成を目指し、ホテル依存型から「索道・不動産・宿泊」の三本柱へ事業転換し収益基盤を多層化。スキー事業では来場者50万人体制を構築し、リフト券単価の維持と付加価値サービス強化で年間約45億円の安定収益を確保。不動産・滞在型開発では年間売上20億円超を見込み、観光と連動した地価上昇・定住促進効果を創出。ホテル・教育・通年滞在事業との統合により地域型中堅企業モデルを確立し、持続的成長を実現する。

課題

来場50万人体制実現に向け、IHRは索道・降雪設備の老朽化対応としてゴンドラ掛け替えや積雪設備更新を実施。また、リゾート特有の開発許認可・建築コスト上昇に対応した不動産開発・販売体制の整備、人材確保と通年運営体制への組織変革が課題。さらに、リフト券・宿泊・不動産の統合管理を可能にするCRM・DX基盤の導入や、盛岡～安比間のアクセス改善、二次交通整備により長期滞在者の利便性向上も必要である。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

最新ゴンドラ導入で輸送力を2,000人/時→3,000人/時に強化し、年間来場者50万人体制を目指すとともに、省エネ・再エネ対応で運転コスト▲15%、CO₂▲25%を実現。安比リゾートマスタープランで施設・交通・教育・再エネを統合整備し、ゴンドラ・降雪設備・道路整備から温泉・商業ゾーン開発まで段階的に推進。統合CRM・AIによる販売管理と直販比率向上、電子チケット導入で業務効率20%向上。不動産・長期滞在事業を拡大し、地元雇用拡大と二地域居住推進により定住人口1万人構想を支援する。

実施体制

- 経営統括：代表取締役（全体戦略・資金調達）
- 技術統括：索道事業部（ゴンドラ設計・運用・安全管理）
- 開発統括：不動産開発事業部（マスタープラン推進・開発計画）
- DX推進：デジタル戦略室（CRM・AI・直販最適化）
- 官民連携：東北経済産業局、岩手県、八幡平市、観光庁、金融機関